

福岡市政担当記者 各位

環境省・福岡県同時発表

福岡市環境局
保健医療局

ツマアカスズメバチの確認について

令和4年4月28日（木）に福岡市東区の私有地内において発見されたハチについて、専門家による種の同定の結果、特定外来生物（※）であるツマアカスズメバチの女王バチと確認されましたので、お知らせします。

なお、ツマアカスズメバチは在来のオオスズメバチ等と比較して、「特に人体に関わる被害が大きいことはありません」。

※外来生物（海外起源）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から、環境省が指定

1 経緯

- 4月28日 福岡市東区の私有地において、ミツバチの養蜂を行っている住民が、敷地内でツマアカスズメバチに似た個体（1匹）を発見し、駆除業者を通じて福岡県自然環境課に通報。同課が環境省九州地方環境事務所に通報し、個体と駆除された個体の写真を送付。
- 5月2日 環境省九州地方環境事務所が専門家に個体を送付し、同定を依頼。
- 5月9日 専門家による同定の結果、同スズメバチがツマアカスズメバチの女王バチであることを確認。

2 今後の対応

環境省と連携して、スズメバチに関する住民等からの通報が集約されると考えられるスズメバチ等の駆除業者からの情報収集を行うとともに、調査や防除を進めていきます。

3 発見した場合

ツマアカスズメバチの個体や巣を発見した場合は、近寄らず、刺激しないでください。
また、発見場所等の情報について、環境省九州地方環境事務所または福岡市環境局環境調整課までお知らせください。

環境省九州地方環境事務所野生生物課 電話(096)322-2413 FAX(096)322-2447
福岡市環境局環境調整課 電話(092)733-5389 FAX(092)733-5592

【問い合わせ先】

（発見の経緯、特定外来生物に関すること）

環境局環境調整課 後藤

TEL：(092)733-5388 内線 2430

FAX：(092)733-5592

（健康被害に関すること）

保健医療局生活衛生課 椿本

TEL：(092)711-4273 内線 2251

FAX：(092)733-5588

<参考>

1 ツマアカスズメバチについて

- ・体は全体的に黒っぽく、腹部の先端がオレンジ色
(体長 女王バチ 30mm、オス 24mm、働きバチ 20mm 前後)



(写真提供：環境省)

- ・中国、台湾、東南アジア、南アジア原産
- ・在来のスズメバチよりも大きな巣をつくる。樹木の高い位置に巣をつくることが多い。
- ・おもに昆虫類（ミツバチを含む）を捕食する。
- ・在来スズメバチの減少や捕食される昆虫の減少による生態系のかく乱といった生態系への影響、飼育ミツバチへの攻撃、養蜂や受粉への被害といった農林業（養蜂）への影響が懸念される。
- ・人への影響としては、在来スズメバチと同様、人への刺傷被害があるが、特に攻撃性や毒性が強いということはない。

2 国内での確認状況について

- ・平成 24 年 10 月長崎県対馬市で国内初確認、その後定着。
- ・平成 27 年 9 月福岡県北九州市、平成 28 年 5 月宮崎県日南市、平成 29 年 9 月長崎県壱岐市、平成 30 年 10 月大分県大分市、令和元年 11 月山口県防府市で確認されたが、いずれも駆除。現在まで確認されていない。
- ・福岡市では平成 26 年度～令和 3 年度にかけて、港湾区域周辺にて毎年調査を実施してきたが、確認されていなかった。

福岡県福岡市におけるツマアカスズメバチの確認について

令和4年5月9日（月）

環境省

九州地方環境事務所 野生生物課

課長：大澤 隆文

課長補佐：岡部 佳容

TEL：096-322-2413

<福岡県・福岡市同時発表>

外来生物法に基づき特定外来生物に指定されているツマアカスズメバチの女王バチ1個体が、福岡県福岡市において確認されましたので、お知らせします。

今後、環境省では、関係機関と連携しながら発見された地点及び周辺での緊急調査を実施し、巣や新たな個体が確認された場合は速やかに防除を実施します。

なお、ツマアカスズメバチは、国内では長崎県対馬市において定着が確認されています。対馬市以外ではこれまでに巣や個体が5地域（福岡県北九州市（平成27年9月）、宮崎県日南市（平成28年5月）、長崎県壱岐市（平成29年9月～11月、平成30年5月）、大分県大分市（平成30年10月）、山口県防府市（令和元年11月））で確認されています。いずれも発見した巣や個体については防除を実施し、周辺でモニタリング調査を行っており、現時点でこれらの地域において定着は確認されていません。

1. 経緯

- 4月28日 福岡市東区の私有地において、ミツバチの養蜂を行っている住民が、敷地内でツマアカスズメバチに似た個体（1匹）を発見し、駆除業者を通じて福岡県自然環境課に通報。同課が九州地方環境事務所に通報し、個体と駆除された個体の写真を送付。
- 5月2日 九州地方環境事務所が専門家に個体を送付し、同定を依頼。
- 5月9日 専門家による種の同定の結果、同スズメバチがツマアカスズメバチの女王バチであることを確認。

2. 今後の対応

ツマアカスズメバチは、高い繁殖力と分布拡大能力から、一旦定着すれば根絶することは困難となるため、侵入監視により、早期発見、早期駆除することで定着前に根絶を図ることが極めて重要です。今後、環境省九州地方環境事務所では、関係機関と連携しながら確認地点周辺においてツマアカスズメバチの侵入状況等について緊急調査を行い、営巣や個体が確認された場合には速やかに防除を行います。

また、環境省九州地方環境事務所では、ツマアカスズメバチの定着が確認され

ている釜山港（韓国）との船の往来がある九州の港湾周辺におけるツマアカスズメバチの監視調査を平成 26 年度より実施しており、今後も継続して実施する予定です。

3. 周辺住民の皆様へ

ツマアカスズメバチは生態系等に悪影響を及ぼすおそれがあり、警戒が必要です。在来のおオスズメバチ等と比較して、特に人体に関わる被害が大きいことはありません。早期発見、早期駆除のため、福岡市内においてツマアカスズメバチと疑われる個体や巣を確認された場合は、福岡市環境調整課、福岡県自然環境課、または九州地方環境事務所までご連絡いただき、情報提供にご協力のほどよろしく申し上げます。

4. 情報提供のお願い

九州地方に限らず、ツマアカスズメバチの定着が確認されている地域（韓国・釜山港など）と往来のある港湾等においては、侵入のリスクがあります。

地方自治体や駆除業者の方々につきましては、ツマアカスズメバチと思われる個体が発見された場合には、管轄区域の環境省地方環境事務所にご連絡ください。

連絡先 URL : <http://www.env.go.jp/region/index.html>

確認されたツマアカスズメバチ（写真：福岡県提供）



確認地点（福岡県福岡市東区）



(参考)

ツマアカスズメバチについて

1. 生態について

- 原産地：中国、台湾、東南アジア、南アジア
- 日本での定着状況：長崎県対馬（侵入経路は不明）
- 確認時期：平成24年10月
- 樹木の高い位置に営巣することが多い。主にミツバチなどの昆虫類を捕食する。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる影響：在来種との競合
- (2) 農林水産業に関わる影響：養蜂業への影響
- (3) 人体に関わる被害：刺傷被害

※海外では、韓国やヨーロッパ（フランス、スペイン）で定着が確認されており、飼育されているミツバチや、在来のスズメバチの減少が報告されている。

※在来のオオスズメバチ等と比較して、特に人体に関わる被害が大きいことはない。

